

平成21年度第1回 横浜市立病院等安全管理者会議

日時:平成21年10月1日(木)
場所:横浜市開港記念会館

<はじめに>

市立病院・市大病院・中核病院等における医療安全を推進するために設置されたこの会議も今年度で10年目を迎えます。

この会議は主に、会議参加病院の安全管理担当者にご参加いただき医療安全に関する情報交換や、さまざまな講師をお招きしての研修など行っています。



<研修会内容>

平成21年度第1回目今回は、国立保健医療科学院政策科学部安全科学室室長の種田 憲一郎氏に「院内における、参加型医療安全職員研修を考える」をテーマにお話しいただき、その後各グループに分かれて、院内で実施したい研修は何か？をテーマにディスカッションをしていただきました。

医療従事者自らが、日頃の業務の中で感じている様々な問題に対して高めていきたいスキル、それらに必要な研修テーマが数多く挙げられました。

<種田 憲一郎氏のご紹介>

1992年に鹿児島大学医学部をご卒業され、1992年～1997年にかけて聖路加国際病院内科において研修医及び医員として勤務なされました。

その後ワシントン大学総合内科フェロー、同公衆衛生大学院、同看護学部等の研究助手を経た後、2004年に国立保健医療科学院政策科学部の主任研究官、2006年12月には同学部の安全科学室室長に就任されました。

医療安全に関する研究にお力を注がれ、様々な視点から医療事故や医療過誤などに関する講演をなさっています。

参加者が考える 職場(病院)内で実施したい研修



会議の中で、職種を問わずグループに分かれ様々な話し合いが行われました。

その中で、参加者自身が考えた「病院内で実施すると有効と思われる研修」に対する意見・提案をまとめてみました。

大きく分けて2つに分類することが出来ました。

まず1つは、患者・家族に対する接遇スキルを磨く研修です。

「患者・家族に対する接遇スキル」に関して提案された主な研修テーマは…

- ・ 窓口対応研修
- ・ クレーム対応研修
- ・ 患者とのコミュニケーション(ロールプレイング方式)
- ・ 患者への病状説明や謝罪のしかた etc

次に多かったテーマは院内事故防止に関してです。

「院内事故防止」に関して提案された主なテーマは…

- ・ KYT(危険予知トレーニング)研修
他職種でグループを形成し実施したい
- ・ 転倒・転落事故防止研修会
- ・ 院内急変患者に対するシミュレーション
- ・ 他職種混合で行うヒヤリハット事例研究会
- ・ 院内事故発生後の対応研修 etc



国立保健医療科学院 安全科学室室長 種田 憲一郎先生の提案される趣向を凝らしたグループワークの時間で、活発な意見交換が行われました。

作成:横浜市健康福祉局 医療安全課